

県立広島大学パペットサークル (県立広島大学)

◎チーム紹介と活動内容

「県立広島大学パペットサークル」は、県立広島大学三原キャンパスの18名からなるチームです。活動内容は、「ヘンデルとグレーテル」や「100万回生きたねこ」などの人形劇の上演です。人形劇を通して子どもたちとの交流を深めることができればと思っています。

皆さん、放課後子ども教室で人形劇を楽しみませんか。

◎活動の様子

活動教室：三原市ほんごう放課後子ども教室

日時：平成23年7月9日（土） 10:00～12:00

場所：本郷生涯学習センター

参加人数：13名（大学生ボランティア） ， 28名（子ども）



人形劇「ヘンデルとグレーテル」と「100万回生きたねこ」を上演。

人形劇終了後に「パペットサークル」のメンバーが子どもたちから人形劇の感想を聞きました。



人形劇観劇のあとは、子どもたちといっしょにレクリエーションを楽しみました。

子どもたちから、「とても楽しかった。」「また、来てね。」と、たくさんの声が聞かれました。

◎学生の皆さんからの声（インタビュー、アンケートより）

サークルの顧問の先生からお話を伺い、子どもたちをはじめ、地域との交流ができるので是非やろうと思い、「ワクワク学び隊」に登録しました。

私たちは高齢者を始め人との円滑なコミュニケーションが必要な仕事に就くことになるので、人との触れ合いのあるこのような機会を経験することは、社会性等を身につける上で、大変勉強になりました。

◎市町スタッフの皆さんからの声（インタビュー、アンケートより）

子どもたちが生き生きと楽しそうに活動でき、とてもよかったです。また、子どもたちだけでなく、私たちも楽しめました。

若い人たちとの触れ合いの中で、普段と違った活気がありました。